

2020年度武蔵野市、近隣地域の諸団体との連携事業

1. 武蔵野市との連携事業

事業名	内容	提携先
武蔵野地域自由大学	<p>武蔵野市と武蔵野地域の5大学（日本獣医生命科学大学・成蹊大学・亜細亜大学・東京女子大学・武蔵野大学）が連携して継続的な生涯学習の機会を提供する仮想大学「武蔵野地域自由大学」に参加し、各種講座を提供しています。</p> <p>2020年度は、以下の講座が開講予定でしたが、コロナ禍の影響で中止となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付講座（前期中止） ・五大学共同教養講座 「経済学で読み解く現代」（中止） 山上浩明准教授、中神康博教授、小田宏信教授、永野護教授（経済学部）が担当の予定でした。 ・五大学共同講演会 統一テーマ「多様性と調和～「学び」がつなぐ五つの輪」 「錯覚を応用する—VRの心理トリック—」（中止） 小方博之教授（理工学部）が担当の予定でした。 ・大学公開講座（中止） 	教育部生涯学習スポーツ課
武蔵野地域連携セミナー	<p>本学教養カリキュラムの「武蔵野市地域連携セミナー」では、</p> <p>前期：「おもてなし」のルーマニア語 後期：吉祥寺ツアープログラム開発、ルーマニア語入門 を実施しています。</p> <p>関口・コルネリア・ラルカ講師およびシェルブレア・ミハエラ講師のもと、おもてなしの心を大切にしながら、ルーマニア語を学ぶことを通して長い歴史のあるルーマニアを多面</p>	市民部多文化共生・交流課 総合政策部企画調整課

事業名	内容	提携先
	的に学び、光田剛教授（法学部）の指導のもと、武蔵野市住民・通勤者と武蔵野市を訪問する人々双方の視点を意識してマッチングを図ったツアープログラムを開発しています。	
武蔵野市ごみゼロデー市内三駅周辺清掃	学生・教職員が参加予定だった武蔵野市主催の「ごみゼロデー市内三駅周辺清掃」はコロナ禍の影響により中止となりました。 実施日：5月31日（中止）	環境部ごみ総合対策課
土曜学校「成蹊大学ロボット教室」	武蔵野市在住・在学の小学生を対象に、大学の研究室でロボット技術に触れ、大学生と一緒にロボット製作を体験できる「成蹊大学ロボット教室」はコロナ禍の影響により中止となりました。 ① 6月20日「ロボットのお話を聞いてロボット博士になろう！」 ② 6月27日「ロボットを作ろう」 ③ 7月4日「ロボットで遊ぼう」 (すべて中止)	教育部生涯学習スポーツ課
武蔵野アール・ブリュット2020	既成の表現法にとらわれず独自の手法と発想で制作された作品を展示する市民協働のアート展「武蔵野アール・ブリュット」に本学教員や学生ボランティアが協力予定でしたが、本年はコロナ禍の影響で中止となりました。 開催日：7月17日～7月26日（中止）	武蔵野市 (公財)武蔵野文化事業団
夏休み親子講座「親子 de サイエンス」 (小学校高学年向け講座)	武蔵野市在住または在学の小学4年生から6年生の児童を対象に、親子で参加できる体験型実験講座「親子 de サイエンス」はコロナ禍の影響で中止となりました。	武蔵野市教育委員会 教育部生涯学習スポーツ課
夏休みジュニア水球	例年、本学の体育会水泳部の学生が協力している武蔵野生涯学習振興事業団主催の特別プログラム「夏休みジュニア水球」は、コロナ禍の影響で中止となりました。	(公財)武蔵野生涯学習振興事業団

事業名	内容	提携先
「日本武蔵野センター」研修生との交流プロジェクト	例年、ルーマニア・ブラショフ市にある「日本武蔵野センター」の研修生が来日し、様々なアクティビティを通して本学学生と交流を深めていますが、本年度はコロナ禍の影響で中止となりました。	市民部多文化共生・交流課 武蔵野ブラショフ市民の会
むさしのサイエンスフェスタ	身近な科学実験を通じて子どもたちの理科への関心や意欲を向上させることを目的とした「むさしのサイエンスフェスタ」に、例年理工学部や学生ボランティアが参加していますが、本年はコロナ禍の影響で中止となりました。	教育部生涯学習スポーツ課 武蔵野市教育委員会
むさしの環境フェスタ	市民・事業者・行政の協力のもと、子どもから大人まで楽しみながら広く環境について理解を深めることを目的とした本イベントに、本学サステナビリティ教育研究センターが参加しています。 実施日：11月8日～12月31日（オンライン開催）	環境部環境政策課
小学5年・6年生のための講座 「地球温暖化とわたしたちの未来」	武蔵野市在住および成蹊小学校の5・6年生を対象とした、地球温暖化について学び体験して考えるイベントを開催しました。 開催日：11月14日（オンライン開催）	武蔵野市教育委員会 NPO 法人気象キャスターネットワーク オフィス気象キャスター株式会社
Sports for All 水球	オリンピック・パラリンピックイベント「Sports for All 水球（オンラインイベント）」が開催され、本学の体育会水泳部が運営・撮影に協力し、日本代表選手が魅力や見どころを解説する動画が配信されました。 実施日：11月15日（オンライン開催）	武蔵野市 武蔵野市教育委員会 （公財）武蔵野生涯学習振興事業団 （公財）日本水泳連盟水球委員会
ケアリンピック武蔵野 2020	例年本学教員が参加している、介護・看護に従事する方々が発表・研鑽するイベント「ケアリンピック武蔵野」は、コロナ禍の影響で来年度に延期されました。	健康福祉部高齢者支援課
季刊むさしの	武蔵野市の市政情報を紹介する「季刊むさしの」秋冬号に、本学の学生ボランティア本部 Uni. の活動が紹介されました。	総合政策部秘書広報課

事業名	内容	提携先
オンライン講演会「武蔵野市域、成蹊学園周辺の地名を探る！」	本学サステナビリティ教育研究センターが、地名の由来や意味などを紹介するオンライン講演会を開催しました。 開催日：12月5日（オンライン開催）	教育部武蔵野ふるさと歴史館
第74回武蔵野市民体育祭馬術競技大会	本年の武蔵野市民体育祭馬術競技大会は本学にて開催され、本学馬術部員も出場しました。 開催日：12月26日（本学馬場にて）	武蔵野市体育協会 武蔵野市馬術連盟
「日本武蔵野センター」研修生とのオンライン交流	ルーマニアのブラショフ市で日本語を学ぶ学生と、本学ルーマニア交流事業の学生スタッフがオンラインで交流会を開催し、互いの国の魅力や文化についてプレゼンテーションやフリートークで交流を深めました。 開催日：1月4日（オンライン開催）	市民部多文化共生・交流課 武蔵野ブラショフ市民の会
リレーコラム「2つの『成蹊通り』を探る」	本学サステナビリティ教育研究センターが実施するリレーコラムに、武蔵野地区、成蹊周辺の地名の歴史が紹介されました。 掲載日：1月29日	教育部武蔵野ふるさと歴史館
馬とふれあい仲良くなるろう！～ちょっと乗馬体験	東京オリンピックの競技でもある馬術に関心を持ってもらうことを目的とし、武蔵野市在住・通学の小学生を対象とした乗馬体験教室を、本学馬術部の協力のもと開催予定です。 開催日：3月29日（3月7日から延期）（本学馬場・体育館にて）	（公財）武蔵野生涯学習振興事業団

2. 近隣地域の諸団体との連携事業

事業名	内容	提携先
吉祥寺プロジェクト	『武蔵野市の福祉作業施設における作業改善』 障がい者による書類などの封入・菓子の箱詰め作業、そして新たに開始した「米袋バッグ制作」を効率化し正確性を向上させる道具を、理工学部の篠田心治教授の指導のもと学生が考案しています。	武蔵野福祉作業所

	<p>(※)「吉祥寺プロジェクト」は本学理工学部システムデザイン学科と武蔵野市、地域コミュニティによる、吉祥寺を舞台にした共同研究プロジェクト型授業です。地域が抱える問題について、理工学部ならではの工学的手法に基づき、学生自らのフィールドワークによりデータを収集、解析し、解決策を提案します。</p>	
プロジェクト型授業	<p>『アフターコロナとSDGsに対応した新しい『ローカル』を考える』 経済学部の小田宏信教授の指導のもと、起業家コミュニティや住民コミュニティを担う方々、またこれらに基づく地域づくりを担う方々のお話から得た知見をもとに、アフターコロナとSDGsの時代を見越したこれからの「ローカル」の在り方について考察しています。</p>	<p>株式会社ネクストローカル 武蔵野市都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 帯広市役所東京事務所</p>
	<p>(※)「プロジェクト型授業」は提携する企業や地域・行政から協力を要請された課題に対して、学生が調査・分析・企画立案などを行う実践型の授業です。</p>	
「Stay Home with Kichijyoji」	<p>経営学部の浜松翔平准教授のゼミでは、吉祥寺の2つの商店と連携し、コロナ禍で生活が苦しくなった学生の「ステイホーム」を応援するイベントを開催しました。この取り組みは、Instagramライブ配信と特設ウェブサイトにて発酵食品と日本酒のセット販売を行い、その購入数に応じて生活に困窮する学生に在宅応援食品をプレゼントするというものです。(この取り組みは、『蛍雪時代』9月号で紹介されました) 実施日：5月9日、16日(こころダイニング Instagramにて)</p>	<p>キッコーマンこころダイニング 未来日本酒店 KICHIJYOJI</p>
文学部メディア・リテラシー演習	<p>文学部開講科目「メディア・リテラシー演習」では見城武秀教授の指導のもと、むさしのみたか市民テレビ局株式会社の協力を得て番組を制作し、J:COM 武蔵野三鷹で放送されました。 コロナ禍の影響により、キャンパスでの授業や対面取材ができない中、学生がオンラインでつながり、直接顔を合わせることなく番組を完成させました。 テーマ：『新型コロナウイルス感染症と社会』 番組①「コロナウイルスと社会一人とのつながり、伝える感謝」 番組②「大学生が行うリモート演奏企画」 番組③「吉祥寺のお店と人々のつながり—学生の規格が築いた新しい支援」</p>	<p>NPO 法人むさしのみたか市民テレビ局 株式会社「エフエムむさしの」</p>

	<p>発表会：7月17日（オンライン開催） 放送日：8月23日～8月31日</p>	
	<p>（※）「メディア・リテラシー演習」は武蔵野・三鷹における地域情報発信団体（NPO 法人「むさしのみたか市民テレビ局」、株式会社「エフエムむさしの」）との協力でを行う文学部現代社会学科の実践型科目です。 「映像作品」、「ラジオ番組」を制作し、完成した作品を地元CATV局、インターネット、地元コミュニティFM局を通じて実際に地域へと発信していきます。</p>	
<p>武蔵野地域研究</p>	<p>高田昭彦名誉教授の指導のもと、例年は武蔵野市役所や市民団体の方々から地域の問題への取り組みの現状について講義を受け、その活動に直接参加し、生きた知識を身につける授業を実施していますが、本年度はコロナ禍の影響で、過去に講義を受けた諸団体の事業を紹介し、その活動内容を議論・考察する形式に変更して実施しています。</p>	<p>けやきコミュニティ協議会 みかづき子ども食堂・学習室 社会教育を考える会 「お父さんお帰りなさい」 パーティ実行委員会 NPO法人「武蔵野すこやか」 むさしの市民エネルギー 週刊きちじょうじ テンミリオンハウス「ふら ったきたまち」 テンミリオンハウス「くる みの木」 居場所プロジェクト「ふれ あい居場所・ひびのさん ち」 緑ボランティア団体・生き ものばんざいクラブ</p>

		子育てひろば・みずきっこ 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ シェアキッチン MIDOLINO
「わんぱく相撲武蔵野場所」	本学職員と学生がボランティアとして協力する予定であった武蔵野青年会議所主催の「わんぱく相撲武蔵野場所」は、コロナ禍の影響で延期となりました。 開催日：5月17日（本学体育館にて）（延期）	武蔵野青年会議所
吉祥寺公園通り緑化計画	コロナ禍のため、本年度の吉祥寺公園通りのフラワーポット植え替え作業は、本学よりの参加は中止となりました。 実施日：5月27日、11月19日（参加中止）	吉祥寺公園通り商店会
「吉祥寺伝」	SNSを中心に吉祥寺・武蔵野の情報を発信する放送局・吉祥寺テレビジョンの「吉祥寺伝」に経済学部の小田宏信教授が出演し、吉祥寺と学生との関わりや大学時代の思い出について語りました。 配信日：7月12日（「子供の頃に見た吉祥寺」）、7月14日（「忘れられない交流」）、7月15日（「吉祥寺と学生のかかわり」）	吉祥寺テレビジョン
吉祥寺ふれあい夏祭り	本学学生や職員がイベント運営や音楽演奏、模擬店出店に参加予定であった「吉祥寺ふれあい夏祭り」はコロナ禍の影響で中止となりました。	吉祥寺公園通り商店会 吉祥寺大正通り商店会
成蹊ボランティアプログラム オンラインサマーセミナー	本学ボランティア支援センターがセミナーを開催し、「フェアトレードむさしの」および「フードバンクみたか」の各代表者から講演をいただきました。 開催日：8月12日（オンライン開催）	フェアトレードむさしの フードバンクみたか
フードパントリー	本学ボランティア支援センター登録団体の RootSeikei が、武蔵野市在住の子供のいる家庭に、無料で食料品を配布するイベントを実施しました。 実施日：8月26日	武蔵野市民社会福祉協議会 武蔵野ライオンズクラブ かぐや支部 Tsumugi 吉祥寺テレビジョン
「マイクラフトでぼくらの街を作っ	武蔵野市内在住・在学の小学生がマイクラフト内に吉祥寺の街を再現し、その中で協	一般社団法人武蔵野青年

てみよう」	力しながら自由に建物を作るイベントに、本学の学生がボランティアスタッフとして参加しました。 開催日：8月22日（事前講習会）、8月30日（イベント）（いずれもオンライン開催）	会議所
企画展「武蔵野から見える雲の風景展」	成蹊気象観測所で撮影された、武蔵野から見える美しい雲の画像を紹介する企画展が、三鷹市の天文・科学情報スペースで開催されました。 開催日：9月4日～10月18日	NPO法人三鷹ネットワーク 大学推進機構
吉祥寺秋祭り	本学職員と学生ボランティアが正門前の休憩所で参加者対応する予定だった「吉祥寺秋祭り」は、コロナ禍の影響で中止となりました。 実施日：9月13日（中止）	五日市街道親交会
吉祥寺ハロウィンフェスタ 2020	吉祥寺駅近隣で開催される母と子のためのハロウィンイベントに、本学学生ボランティア本部 Uni. が参加しました。今回はコロナ禍の影響で、オンライン開催となりました。 開催日：10月1日～10月31日（オンライン開催）	NPO法人プレシャスネット 武蔵野市 吉祥寺活性化協議会 一般財団法人武蔵野市開発公社
第20回むさしのあったかまつり	武蔵野市在住・在勤の障がい者が主役となって楽しみ、市民の方々の障がいに関する理解を深める機会として開催されるイベントに、本学学生ボランティア本部 Uni. が参加する予定でしたが、コロナ禍の影響で来年度に延期されました。	社会福祉法人武蔵野 武蔵野市 武蔵野市民社会福祉協議会
むさしの国際交流まつり	外国人市民と共生する文化、豊かなまちづくりを目指して開催される「むさしの国際交流まつり」に、学生ボランティア本部 Uni. が参加する予定でしたが、コロナ禍の影響で中止となりました。 実施日：11月15日（中止）	MIA（公益財団法人武蔵野市国際協会）
オンライン講座「武蔵野ではじめよう！！～フードバンクって何？」	フードロス削減と食のセーフティネットに取り組み、助け合う気持ちや食品を分かち合う活動「フードバンク」についての講座が6回にわたって開催され、本学ボランティア支援センター登録団体 RootSeikei が協力しました。 講座1：「フードバンク活動ってなに？」 講座2：「武蔵野市のごみ問題と食品ロス削減について」	フードバンク ZOOM 講座実行委員会 武蔵野市環境部

	<p>講座 3 : 「官民連携のフードバンク」</p> <p>講座 4 : 「武蔵野でフードバンクに期待するもの」</p> <p>講座 5 : 「子ども食堂とフードバンク」</p> <p>講座 6 : 「子どもの貧困とフードバンク」</p> <p>開催日 : 11 月 22 日、11 月 29 日、12 月 6 日 (いずれもオンライン開催)</p>	
「オーロラと宇宙の天気展」	<p>宇宙と地球の境目で起こる特異な現象・オーロラと宇宙の天気についての企画展に、理工学部の藤原均教授が北極観測で撮影した写真や宇宙環境・天気についてのパネルが展示されました。</p> <p>開催日 : 11 月 27 日～1 月 31 日 (天文・科学情報スペースにて)</p>	<p>NPO 法人三鷹ネットワーク 大学推進機構 天文・科学情報スペース</p>
第 14 回 TAMACOM	<p>多摩地域で活動する企業や団体、大学、地元行政の懇親および情報交換のためのイベントである第 14 回 TAMACOM がオンライン開催されました。</p> <p>今回のテーマは～コロナ禍に負けずニューノーマルに積極的に取り組むチャレンジャー～で、異業種異分野の方々が行うショートプレゼンがライブ配信され、本学からは、文学部の見城武秀教授がプレゼンターとして参加しました。</p> <p>実施日 : 12 月 3 日 (オンライン開催)</p>	<p>三鷹 IT 事業者協会 武蔵野 ICT 研究会</p>
Teens Town むさしの 2020	<p>「こどものまち」を作ることで、子どもたちに「まちとじぶんを考えるきっかけ」を届けるイベント「Teens Town むさしの 2020」に、本学の学生が企画・運営ボランティアとして参加しました。</p> <p>STEP1 : 12 月 19 日 仕事をまなぶ 「おしごとレクチャープログラム」</p> <p>STEP2 : 12 月 20 日 じぶんでつくる「おうちで！オリジナルショップをつくろう」</p> <p>STEP3 : 12 月 27 日 みんなでつくる「空想のまち作成プロジェクト」</p> <p>(いずれもオンライン開催)</p>	<p>TeensTown むさしの実行委員会 武蔵野市</p>
文学部コミュニティ演習	<p>2020 年度のコミュニティ演習では、文学部の見城武秀教授の指導のもと、『『コミュニティの記憶』と『記憶のコミュニティ』』をテーマとし、過去の吉祥寺を撮影した写真を整理しながら、それぞれの写真をめぐる思い出を収集し、公開・共有するしくみを検討しました。報告会では、その成果である「吉祥寺今昔 (いまむかし) フォトマップ」が紹介されました。</p>	<p>吉祥寺今昔写真館委員会 武蔵野商工会議所</p>

	<p>報告会：1月15日（オンライン開催）</p> <p>（※）コミュニティ演習は、地域社会との結びつきを継続的に強化していくことを目的とした文学部現代社会学科の演習科目です。</p> <p>武蔵野市との包括的連携協定に基づく取り組みの一環として展開されています。</p>	
アトレ吉祥寺店の売上解析プロジェクト	<p>井上智夫教授（経済学部）のゼミでは、小川隆申教授（理工学部）との協働のもと、3者間協定によって提供されたアトレ吉祥寺店の売上データを解析し、売り上げを伸ばすためのアイデアを提案し、研究成果を発表しました。</p> <p>報告会：1月19日（ゼミにてオンライン開催）</p>	<p>株式会社アトレ</p> <p>株式会社ネクストローカル</p>
「発信！わがまち・武蔵野人」	<p>経済学部の小田宏信教授がむさしのFMの番組に出演し、本学サステナビリティ教育センターについて紹介しました。</p> <p>放送日：1月22日</p>	株式会社エフエムむさしの
座学「雑学大学」	<p>三鷹市西部地区住民協議会の事業 座学「雑学大学」で、理工学部の宮下敦教授が「武蔵野から富士山を見る楽しみ」というテーマで講演を行いました。</p> <p>実施日：1月25日</p>	三鷹市西部地区住民協議会
こども学習支援大学サポーター	<p>本年度はコロナ禍のため、サポーターの募集は行われませんでした。</p>	MIA（公益財団法人武蔵野市国際協会）
武蔵野シティ×成蹊大学 応援プロジェクト	<p>「成蹊ボランティアまつり 2016」実行委員会有志により、武蔵野市をホームタウンとする日本フットボールリーグ（JFL）加盟チームの東京武蔵野シティフットボールクラブ（FC）の応援プロジェクトを発足させ、ホームゲーム応援ツアーや試合運営ボランティアを実施しています。</p>	NPO法人武蔵野スポーツクラブ
小学校でのタグラグビーの指導	<p>本学ラグビーフットボール部は、横河武蔵野アトラスターズと共同で市内の公立小学校にてタグラグビーの指導を行っています。</p>	横河武蔵野アトラスターズ（旧・横河電機ラグビーフットボール部）

※ 成蹊大学はルーマニアのホストタウンである武蔵野市にキャンパスを構え、大学としても交流事業を立ち上げていますが、今年度はその延長線上で下記の活動に参加しました。

事業名	内容	提携先
ルーマニアのオンライントリップ	<p>本学のルーマニア交流事業の学生スタッフが、明治大学の川上・L・れい子先生が主催するルーマニアのオンライントリップに参加しました。</p> <p>第1回「ヴォイカと夏休み～世界遺産の修道院そばのゲストハウスより～」</p> <p>第2回「ルーマニアの秋あふれる裏庭&学問都市より～ヤシ編～」に参加しました。</p> <p>開催日：8月29日（第1回）、10月2日（第2回）（オンライン開催）</p>	
第1回さくらりパンフルート発表会	<p>本学のルーマニア交流事業の学生スタッフが、民族楽器であるパンフルートの発表会に出演し、成果を発表しました。</p> <p>開催日：11月14日（豊洲シビックセンターレクホールにて）</p> <p>配信日：12月13日（オンライン開催の日本パンフルートフェスティバルにて）</p>	日本ルーマニアパンフルート協会

3. 武蔵野市並びに近隣地域の委員会、審議会等への参加

事業名	内容	提携先
武蔵野市第6期長期計画策定委員会	文学部の渡邊大輔准教授が副委員長として参加しています。	武蔵野市総合政策部 企画調整課
武蔵野市個人情報保護審議会	個人情報保護とその公正な運用を図るため、市長の諮問に応じ審議を行う審議会に法学部の浅羽隆史教授が委員として参加しています。	武蔵野市市民部 市民活動推進課
武蔵野市固定資産評価審査委員会	地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格に対する納税者の不服を、公正・中立な立場で審査決定するための委員会に経済学部の井出多加子教授が委員として参加しています。	武蔵野市固定資産評価審査委員会事務局 (市民部市民活動推進課内)
武蔵野市市民活動推進委員会	「市民活動促進基本計画改定計画」の進捗管理や市の市民活動促進について協議するために設置された委員会に法学部の光田剛教授が委員として参加しています。	武蔵野市市民部 市民活動推進課
武蔵野市情報公開委員会	情報公開の推進に関する事項について審議する委員会に渡邊一衛名誉教授が委員長と	武蔵野市市民部

事業名	内容	提携先
	して参加しています。	市民活動推進課
武蔵野市第 11 期環境市民会議	市の環境の保全に関する基本的事項を調査・審議するための常設の会議に理工学部の小川隆申教授が参加しています。	武蔵野市環境部 環境政策課
武蔵野市廃棄物に関する市民会議	武蔵野市における資源再利用、廃棄物発生抑制・減量などを協議する会議に、経営学部の田口誠教授が副委員長として参加しています。	武蔵野市環境部 ごみ総合対策課
武蔵野市ごみ減量資源化推進事業者認定表彰委員会	ごみの発生抑制や分別・資源化等に取り組む事業者を「武蔵野市ごみ減量資源化推進事業者 (Eco パートナー)」として認定、表彰する委員会に、経営学部の田口誠教授が委員として参加しています。	武蔵野市環境部 ごみ総合対策課
武蔵野市環境浄化審議会	市内の良好な風俗環境等を確保するため、学識経験者等により環境浄化に関する事項について調査・審議する会に、経済学部の小田宏信教授が委員として参加しています。	武蔵野市防災安全部 安全対策課
武蔵野市健康福祉総合計画・地域共生社会推進会議	武蔵野市健康福祉総合計画事業の執行状況等に関する意見交換のための会議に文学部の渡邊大輔准教授が委員として参加しています。	武蔵野市健康福祉部 地域支援課
武蔵野市地域包括ケア推進協議会	地域包括支援センターおよび地域密着型サービスの適切な運営を図り、生活支援体制の整備・地域包括ケア推進について審議する協議会に、文学部の渡邊大輔准教授が委員として参加しています。	武蔵野市健康福祉部 高齢者支援課
武蔵野市シニア支え合いポイント制度推進協議会	65 歳以上の市民を対象とした、協力施設・団体が定めた活動への参加でポイントを獲得し寄付やギフト券等に還元することができる制度を推進する協議会に文学部の渡邊大輔准教授が委員として参加しています。	武蔵野市健康福祉部 地域支援課
第 5 期武蔵野市子どもプラン推進地域協議会	子どもの保護者その他子ども子育て支援に係る当事者の意見聴取の場である協議会に文学部の見城武秀教授が委員として参加しています。	武蔵野市子ども家庭部 子ども政策課
武蔵野市特定非営利活動法人補助金審査会	武蔵野市に事務所を置く NPO 法人に対する補助金交付をサポートする審査会に文学部の川村陶子教授が委員として参加しています。	武蔵野市市民部 市民活動推進課
武蔵野市教育委員会	渡邊一衛名誉教授が教育長職務代理人として参加しています。	武蔵野市教育委員会 (武蔵野市教育部教育企画課)

事業名	内容	提携先
武蔵野市社会教育委員	法学部の光田剛教授が社会教育委員として参加しています。	武蔵野市教育委員会 (武蔵野市教育部教育企画課)
武蔵野市行政不服審査会	法学部の原昌登教授が委員として参加しています。 委員任期：2020年4月1日～2022年3月31日	武蔵野市市民部 市民活動推進課
武蔵野市テンミリオンハウス事業採択・評価委員会	地域の人材・建物等の社会資源を活用し、地域の実情に応じた福祉活動を実施する「テンミリオンハウス事業」の採択・評価委員会に、文学部の澁谷智子准教授が委員として参加しています。	武蔵野市健康福祉部 高齢者支援課
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた様々な取り組みを市民と共に推進し、将来に活かすために設置された実行委員会に副委員長として本学の北川浩学長が、各種分科会委員として境広志教授(法学部)・光田剛教授(法学部)・竹内敬子教授(文学部)、熊崎和宏課長(学生支援事務室)が参加しています。	武蔵野市統合政策部 企画調整課
武蔵野アート・ブリュット2020実行委員会	既成の表現法にとらわれず、独自の手法と発想で市民協働によって作り上げるアート展「武蔵野アート・ブリュット」の実行委員会に、文学部の川村陶子教授が委員として参加しています。	武蔵野市市民部 市民活動推進課
(公財)武蔵野文化事業財団定時評議員会	武蔵野市民の文化・福祉の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設立された武蔵野文化事業財団の定時評議員会に、文学部の川村陶子教授が評議員として参加しています。	(公財)武蔵野文化事業財団
MIA(公益財団法人武蔵野市国際協会)評議員会・理事会	地域での国際交流を通して、生活者としての外国人をサポートしながら、多文化共生社会の実現に向けて各種事業に取り組んでいるMIAに、国際教育センター所長の遠藤不比人教授が評議員として、同センターの安井良次課長が理事として参加しています。	MIA(公益財団法人武蔵野市国際協会)
ふじみ衛生組合情報公開審査会	三鷹市・調布市で組織する、ごみに関する共同処理事務を担うふじみ衛生組合に設置された審査会に、法科大学院の新村とわ教授が委員として参加しています。	一部事務組合ふじみ衛生組合
株式会社ジェイコム武蔵野三鷹放送番組審議会	文学部の見城武秀教授が委員として参加しています。 委員任期：2020年4月1日～2021年3月31日	株式会社ジェイコム武蔵野三鷹

事業名	内容	提携先
NPO 法人むさしのみたか市民テレビ局 番組審議会	文学部の見城武秀教授が委員として参加しています。 委員任期：2020年4月1日～2021年3月31日	NPO 法人むさしのみたか市 民テレビ局
武蔵野市スポーツ推進委員	経済学部の学生（1名）が委員として参加しています。 委員任期：2020年4月1日～2022年3月31日	武蔵野市教育部 生涯学習スポーツ課